



# 大地の風

加美町農業委員会  
 加美町字長檀75番地2  
 ☎0229-67-5411

**第26号**  
 令和2年3月発行



機械化によるネギの出荷調製作業の様子

## 農業委員会組織の「綱紀粛正」について

農業委員会会長 三浦 泉

日頃より、町民の皆様には、農業委員会活動にご協力とご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年十一月二十八日に開催された全国農業委員会会長大会において、農業委員会の委員等の綱紀保持に関する申し合わせが決議されました。それに併せ、宮城県農業会議も同様の決議がされたことから、加美町農業委員会でも、十二月二十五日の定例総会において同様の決議がされました。

この決議に至ったのは、昨年、全国で二自治体の農業委員会会長が、農地転用許可の手続きを行う際に、便宜を図った見返りに現金を受け取った収賄の疑いで逮捕された事件を受けて、決議されたものでした。

こうした事態は、農業委員会のみならず、国民の信頼を裏切る行為です。非常に残念でなりません。最近、国会でも似たような報道がありました。農業委員会では、高い倫理観を持ち、綱紀粛正を図り日々の業務にあたりたいと思います。

当委員会では、年二回、「農業委員会憲章」を唱和しており、各委員の自覚と責任を確認しあい農業委員活動に取り組んでおります。今後ともよろしくお願いいたします。

## トピックス

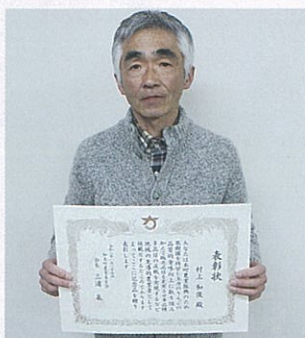
- P 2
  - ・優良農家表彰
- P 3
  - ・食農教育  
(さつまいもほり)
  - ・委員会活動報告  
(農業委員視察研修)
- P 4～5
  - ・農作業標準賃金表
- P 6
  - ・委員会活動報告  
(宮城県農業委員会大会)  
(大崎地区農業委員会連合研修会)
- P 7
  - ・農家を訪ねてin下新田地区
  - ・新委員の紹介
- P 8
  - ・農活雑感
  - ・編集後記

## 優良農家表彰

農業委員会では、令和2年1月27日、農業振興に大きく貢献された3名を表彰しました。

村上和俊さん  
(59歳)

行政区：菜切谷新田



大学卒業後、就職しましたが、祖父の代から取り組んでいた果樹園を育成、充実販売に力を入れるために退職し就農しました。

特に主力のりんごは品質向上を図り、40代の時に県品評会で最高賞の1等1席を受賞、その後も数回上位入賞し、その実績が県下でも認められ購入希望者が殺到しています。現在は、リンゴのほか、さくらんぼ・ぶどう・洋ナシ・キウイなど多品種多品目の直販も行っています。

また、加美町りんご協議会の中心的存在として、技術、品質的食味向上に積極的に取り組んでおり、地域を代表する農業者の一人です。

### 【村上さんから一言】

この度、優良農家賞をいただき、大変光栄に感じております。リンゴを中心に、ぶどう・さくらんぼ・なし・ももを栽培して庭先販売している果樹農家ですが、技術的に未熟なところも多々あり、日々反省と勉強の毎日です。今回の受賞を糧にし、より一層の精進を重ねてまいります。

奥山光幸さん  
(55歳)

行政区：東鹿原



高校卒業後、地元企業に就職しましたが、一念発起し就農、繁殖和牛を始めました。平成18年にパイプハウス牛舎を新築、さらに昨年11月にも増築し、現在は、雌牛43頭、子牛33頭を飼養しています。

子牛飼養管理マニュアルの経験に基づいた子牛管理も徹底しており、早期離乳、制限哺乳や母牛の乳質改善などに取り組み、良質な子牛の安定した出荷に繋がっています。

現在は、子牛の発育は加美町内でもトップクラスで、地域では指導的役割を担っています。

### 【奥山さんから一言】

この度は、大変名誉な賞をいただき心より感謝申し上げます。兼業で牛飼いをしてきましたが、50歳を機に会社を辞め16頭だった母牛を5年間で45頭に増頭し経営をしています。楽しみは、肥育農家が喜ぶ仔牛を出荷することで、日々楽しく仕事に追われています。生き物を相手にする以上「休みなんで…」と思っていたのですが、やはり休みは欲しい今日この頃。今後も、母牛を増頭し労働条件の改善を目標に、牛飼いに励んでいきたいと思っています。

津嶋敏行さん  
(61歳)

行政区：西原



高校卒業後就農し、平成6年より環境保全に配慮したアイガモによる有機農法を始めました。有機農産物の新たな販路を築き、有機農業の栽培技術を確立させました。

平成9年にはアイガモ処理施設を建設。以来、県内外の農家から、多くの処理を依頼され6次産業として加工販売も手がけています。

現在、JA加美よつば有機栽培部長、カモ・カモクラブ会長などを歴任し地域の担手のリーダーとして、幅広く意欲的に活動を展開しています。

### 【津嶋さんから一言】

優良農家賞をいただき、誠にありがとうございました。現在、水稻を中心に15haの経営をしており、そのうち、有機米合鴨農法を3.7haやっています。また、合鴨は専用の解体所で解体し、合鴨肉の販売も行っています。

今後は、農家離れがますます加速すると思われるので、後継者の育成にも努力していきたいと思っております。



令和元年10月下旬、毎年恒例のさつまいもの収穫体験を行いました。

5月に園児たちが植え付けをしたさつまいもの苗は、農業委員と農地利用最適化推進委員が、除草などの栽培管理を行い、台風19号の影響で一部水没しいもが腐ってしまうなどの被害もありましたが、無事に収穫期を迎えました。大きく成長したさつまいもに、園児たちは「大きなさつまいも穫れたよー」と笑顔で収穫を楽しみました。

農業委員会では、今後も、植え付けから収穫までの農業体験をすることで、農業への興味や楽しさを知ってもらうため実施していきます。



## 【参加状況】

10/21	おのだひがし園	21名
	おのだにし園	35名
10/29	中新田保育所	45名
10/30	賀美石幼稚園	20名
	みやざき園	30名

取材：農業委員 尾形徳夫

農業委員会  
活動報告

## 農業委員視察研修

令和元年11月7日実施

猪苗代町は、福島県のほぼ中央に位置し、猪苗代湖と磐梯山に抱かれた平坦地で猪苗代盆地を形成しています。会津の米どころで3,250haの耕地面積を有するが、遊休農地面積が1.1haのみと少ない状況や発生防止についての取り組みを研修しました。

まずは、ほ場整備が早い段階から行われ耕地面積の約80%の農地が整備され、遊休農地が発生しにくい状況である事。また、個人農家や集落営農については、法人化の取り組みが進んでいるほか、機械の共同利用も確立されているとの事でした。

遊休農地発生防止に向けた取り組みは、加美町と同様で農地パトロールや利用意向調査を行い、荒廃農地については非農地化を促進しているようでした。

加美町との相違点は、農地利用最適化推進委員が、担当する区域である農地の権利移動や転用許可申請があった事案について、農業委員と共に現地調査を行い、総会で議決権こそないが、調査結果を報告するという事でした。



福島県猪苗代町農業委員会での視察風景

その他にも農業委員と連携し、農地等の利用最適化に向けて、現場での活動を活発に行っているようでした。

加美町でも遊休農地の発生防止・解消対策は極めて重要である事から、今回の研修を参考に全力で取り組んでいきたいと、改めて感じた研修でした。

取材：農業委員 杉村昭宏

# 令和2年度 農作業標準賃金表

今年の農作業標準賃金額を次のとおり設定しましたので、

**農作業賃金の目安** としてご利用ください。

作 業 名		単 位	標準額（消費税込）		摘 要
一 般 作 業		1時間	普通作業	1,080円	軽作業は補助的なもの
			軽作業	880円	
運 搬 作 業		1日	16,000円		軽トラック
オ ペ レ ー タ ー		1時間	1,330円		
水田耕起	耕 起	10a	50a未満	5,600円	耕深15cm程度
			50a以上	5,300円	
	再 耕 起	10a	50a未満	4,300円	
			50a以上	3,900円	
プ ラ ウ 耕 起		10a	6,500円		耕深30cm程度
ディスクロータリー耕起		10a	5,600円		耕深20cm程度
水 田 代 掻		10a	6,200円		粗掻きと植代の2回
堆 肥 散 布		10a	3,400円		積込運搬散布
肥 料 散 布		10a	1,100円		改良材、肥料散布
田 植	稚 苗	10a	50a未満	5,600円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苗運搬 550円増</li> <li>・ 側条施肥機 550円増</li> <li>・ 薬剤箱処理・初期除草剤の散布費用 220円増</li> </ul>
			50a以上	5,300円	
	中 苗	10a	50a未満	6,200円	
			50a以上	5,800円	
直 播	湛 水	10a	5,400円		代掻き済み圃場、種籾・コーティング別
苗 代	稚苗・中苗	1箱	740円		薬剤は実費
	密 苗	1箱	840円		
薬剤散布	粒剤・粉剤	10a	860円		薬剤含まず
	ブームスプレーヤー	10a	1,080円		
畦畔管理	畦畔塗り	10m	320円		片法面
	草 刈	10m	170円		燃料費込、法面状態で割増

作業名		単位	標準額（消費税込）		摘要
稲刈り コンバイン	カッター	10a	50a未満	15,000円	生籾運搬 1,100円 倒伏田は割増
			50a以上	13,900円	
牧草 わら	刈取	10a	3,300円		一貫作業 10,800円/10a
	反転	10a	3,900円		
	集束	10a	1,700円		
	梱包	10a	3,300円		
	ラッピング	1個	1,300円		直径120cm、フィルム代込
乾	燥	60kg	860円		もち米10%増。くず米含む。 乾燥歩合により異なる。 水分25%以上は20%増。
籾摺	調製	60kg	600円		くず米含む
色彩	選別	60kg	800円		選別のみ
精	米	60kg	660円		

※一般作業やオペレーターは、消費税の対象となりません。

※ほ場の条件、作業内容により通常と異なる場合は、受委託者両方で協議のうえ決めて下さい。

※ほ場の畦畔、水路の除草を適正に行い、農地の管理にご協力をお願いします。

## 令和2年度 参考賃借料情報

農地区分			参考賃借料	摘要
田	510kg	A	13,000円	未整備田または20a区画 未満については、10a当 たり3,000円引きとし ます。
	480kg	B	11,000円	
	450kg	C	8,000円	
普通畑			4,000円	場所や条件によって増減

※参考賃借料として示したものです。賃借契約にあたり、ほ場整備や農地に対する負担（水利費等）を勘案して、受委託者両方で協議の上決定してください。

## 農業委員会 Q&A

**Q** 高齢になり、農業を続けることができなくなりました。

今後は、誰かに耕作をお願いしたいと考えているのですが、どのような手続きを取ればよいのでしょうか。

**A** 農業委員会では、耕作者が見つからない農地を、ほかの農業者へあっせんする活動も行っております。詳しくはお近くの農業委員・推進委員または、毎月5日に開催する農業委員との農家相談日などお気軽にご相談ください。

令和元年度宮城県農業委員会大会が、名取市文化会館を会場に、各市町村の農業委員及び農地利用最適化推進委員が多数参加して開催されました。

加美町農業委員会は、「全国農業新聞」の普及拡大に功績があったということで、情報優良表彰を受けました。

大会終了後、引き続き特別研修会が行われ、東京大学大学院農学生命科学研究科教授の安達光義氏を講師に「人・農地プランの実質化による農地の集積、集約化のポイントについて」と題してお話をいただきました。担い手への農地利用集積を推進するために、私たち委員の役割は、地域にどのような農業者がいて、どのような農地を求めているか、後継者はいるのかなど、地域の事情に精通し、丁寧に答えることができるかが求められる責任ある仕事であると痛感しました。



代表で会長が表彰を受けました

これまで築き上げてきた地域の農業、先人から受け継いだ農地を次の世代の子どもや孫へ引き継ぐためにも、農地の集積・集約を進めていくことは、とても大事なことだと思います。

初めて参加した農業委員会大会でしたが、とても分かりやすく興味深い研修でした。

私も、数少ない女性農業委員という自覚をもって、委員活動に取り組んでいかなければと思いました。

取材：農業委員 中村 貴美子

令和元年度大崎地区農業委員会連合会主催による研修が大崎市古川を会場に開催され、120名ほどが参加しました。

「農地中間管理事業と人・農地プランの実質化について」と題し、みやぎ農業振興公社担い手育成部次長の板橋武人氏を講師に、農地中間管理事業の実施状況についてお話しいただきました。

「農地」をうまくリレーすることが早急に必要という目的で、平成26年から10年間を事業期間としスタートした農地中間管理事業。6年間が経過し、今後も目指す効率的な土地利用について、農地バンクが丸となって推進しています。

機構が借り受けた農地が増えれば増えるほど、地域の話合いによる耕作地の交換「農地のシャッフル」により、地域にとって最も使い勝手の良い土地利用を実現できる唯一の事業という説明がありました。

加美町の「集積・集約」取り組み状況には、まだまだ課題があり、さらなる前進を望むものであります。町の基幹産業である農畜産業に正面から取り組み「やりがい」「生きがい」を発信する責任を感じました。

「一人一人の問題」に、これからも丁寧に取り組みたいと思います。

取材：農業委員 畠山 智史



地域みんなで農地を守っていきましょう



今回ご紹介するのは・・・

お名前：<sup>しぶ</sup> <sup>や</sup> <sup>てつ</sup> <sup>はる</sup>  
**澁谷 徹治** さん

昭和57年5月12日生 37歳



徹治さんは、高校卒業後専門学校へ進学。その後、一般企業に就職し16年間勤務していましたが、昨年の12月、子どもの頃からの夢だった農業を継ぐため、会社を退職し、現在は、お父さんのもとの猛勉強中。冬場は、主にネギの出荷調製作業について勉強するそうです。



今後は、集落の方々にもご指導をいただきながら、担い手として地域の皆さんとともに、活気ある豊かな農業をめざしたいと力強く語ってくれました。

取材：農業委員  
**今野 修**



お悔み

去る、令和2年1月4日に農業委員 佐々木 信幸氏がお亡くなりになりました。

平成22年4月より4期9年在職され、地域農業の発展にご尽力されました。

ご冥福をお祈りいたします。

## 新任委員の紹介

昨年、11月25日に行われた、加美町農業委員会総会において委員会の同意を受け、新たに2名が農地利用最適化推進委員に任命されました。



**佐竹 俊文**  
 (西川北)

担当地区：宮崎

新規就農者・経営拡大を目指す担い手農業者や、組織への集積・集約等の経営環境づくりの助けになれるよう努めてまいります。



**鈴木 栄悦**  
 (原町)

担当地区：西小野田

就任したばかりです。正直なところ、右も左もわからない状況ですが、自分なりの考え方で、耕作放棄地の再利用解消方法を提案できればと思っています。

## 全国農業新聞

農業者の立場に立って編集・発行している農家のための情報紙です！

◎発行日 毎週金曜日

◎購読料 月額700円(税込)

◎発行所 全国農業会議所

※購読の申し込みは農業委員会へ

幼い頃、農家の長男として生まれた者は、農家を継ぐのがあたりまえだと思われていました。何の戸惑いもなく就農したものの、現実は、厳しくそんなに甘くはありませんでした。兼業農家として、今日に至るまで、目まぐるしく変わる農業情勢に振り回され、ふと自分の人生は一体何だったのだろうかと自問自答しながら、農業を続けている同世代の方々がいると思います。自分もその一人です。

先日、テレビドラマ『同期のサクラ』の主人公が、「私の夢は、ふるさとに橋を架けることです」と胸を張って述べているところに感動しました。毎回その番組を見るたびに自分の日々の生活は、一体何だったのかと思ひ知らされました。そして、専業農家を夢見ていた若かりし頃の自分の姿が小さく見えました。

今、地域農業は大きな転換期を迎え、法人化・限界集落・耕作放棄地など多くの問題を抱えながら、その流れに飲み込まれようとしています。ふるさは、遠きにありて思うもの：今は、近くに有りて守るもの。日本の食糧は自分達で地産地消。緑多き加美の大地の恵みに感謝し育てることが、我々に課せられた責務だと思えます。

編集後記



令和初の冬は雪がない。「暖かくていいね」を超えて、その反動が心配され怖くもあります。

平成26年8月7日 加美町で1時間の降水量最大値56.5mmを記録したように、県内の半数にあたる自治体が平成24年以降に歴代1位の雨量を更新しています。ここ最近の傾向である暖冬の影響もあるのではないのでしょうか？

昨年の台風19号に対し、東北大学などの研究グループによる調査報告には、雨の降り方が新しいステージに入っていて、気候変動を踏まえた備えが必要になると結ばれています。水田のもつ多面的機能が、必要とされています。

編集委員長 小 山 京 子

表紙紹介



今回は、タカノ産業(株)にお邪魔しました。主に、ネギの出荷調製作業を行っており、最盛期には、4台の調製機をフル稼働させ、作業にあたるそうです。

取材：杉村 昭宏 委員

編 集 委 員

委員長 小 山 京 子  
副委員長 杉 村 昭 宏  
委員 伊 藤 登 喜 子  
委員 猪 股 弘  
委員 山 本 成  
委員 中 村 貴 美 子  
委員 大 野 美 知 雄

加美町農業委員会事務局  
☎0229-67-5411

農地の権利移動・設定・転用状況

～ 令和元年度下半期 ～

項 目	事由	件数	面積㎡
農地として利用するための移転・設定 <b>農地法第3条</b>	所有権移転	11	15,914
	贈与	5	23,650
	貸借権の設定	5	21,370
	合 計	21	60,934
賃貸借の解約(農地法第18条通知)		16	116,254
農地として利用するための移動 <b>農用地利用集積計画</b>	所有権移転(売買)	9	57,084
	利用権の設定(賃貸借)	30	342,062
	利用権の設定(使用貸借)	2	38,238
	農地中間管理事業	1	5,819
	合 計	42	443,203
農地の転用 <b>農地法第5条許可</b>	権利を伴う転用	12	6,234

農業者年金への加入をお勧めします

下記の要件を満たす人は皆さん加入できます！

60歳未満

国民年金第1号  
被保険者

年間60日以上  
農業に従事

まずは、農業委員会にご相談ください。